



現地情報連絡員派遣訓練に参加した国土交通省・岐阜国道事務所のメンバー

『災害に強い街づくりを目指して！』

南海トラフ地震発生、大垣市で総合防災訓練開催される

「防災の日」（9月1日）を前に、南海トラフ巨大地震を想定した総合防災訓練が8月31日（日）、大垣市立南小学校（大垣市美和町）で行われ、市や消防、県警、自衛隊など関係32団体と地元住民ら約400人が参加した。メイン会場の同校グラウンドでは、国土交通省や自衛隊、県などの緊急車両も加わり、消火訓練や緊急搬送訓練、ガス管や上水道の応急復旧訓練などを実施した。同時に、倒壊した家屋から、救助犬による住民を助け出す訓練も含めて26項目の訓練と体験を行った。



市民参加による消火訓練



ドッグスクールJOYや大垣消防組合による救助救出訓練





臨場感に満ちた`現場`に、
市民らは真剣な表情で訓練に参加。
岐阜国道事務所・可児大垣維持出張所長、
木曽川上流河川事務所の細野揖斐川第二出張所長
は防災訓練の様子を参観させていただきました。





小川敏 大垣市長



高橋滋 大垣市議会議長

終了式で、小川敏大垣市長は「今年8月は全国各地で地震や風水害など甚大な災害が多発した。先日の台風11号では揖斐川が増水したが、徳山ダムなど適切な洪水調節により、災害を未然に防ぐことができた。」と前置きしたうえで、広島で発生した土砂災害に触れ「今回の災害で、尊い人命が数多く失われ、避難指示・勧告のあり方が、改めて課題として浮き彫りとなった。防災に従事する者として、住民の命を守るためには、空振りを恐れず、早めの避難指示・勧告を出すよう、地域防災計画の見直しも含めて進めていきたい。『災害に強い街づくり』を、皆さんと連携して進めていこう！」と参加者らを前に呼び掛けました。



台風11号による揖斐川の出水状況。（8月10日 19時頃）
揖斐大橋付近（岐阜県大垣市）



すべての訓練項目を終え、終了式で講評を受ける参加者ら